

「新入生歓迎のことば」

新入生の皆さん、遅くなってしまいましたが改めて、ご入学おめでとうございます。在校生一同、皆さんが四中生仲間入りすることを心より歓迎いたします。入学式に皆さんの晴れ晴れとした姿を見られなかったことは残念でしたが、今こうして通常通りの学校生活が再開されて、歓迎のあいさつができることを嬉しく思います。

まだ登校日数も少なく、四中の大きさやクラスの雰囲気になじめていない人も多くいると思います。ですがこの四中の良さを知ることができれば、少しは気持ちが楽になったり、楽しみや期待が増えたりもするでしょう。そこで、私から四中の良さを少し紹介させてください。

まず、四中には約 1,000 人の生徒が在籍しています。これは北関東で一番大きい学校だそうです。吉田小・吉沢小・酒門小を中心に様々な学校から集まるので、たくさんの新しい出会いがあります。友達ができるか不安に思っている人もいるのではないのでしょうか。私自身も入学した当初は同じクラスに知っている友達が数人しかいなくて、この先1年間楽しく過ごすことができるのか不安に感じていた一人です。しかし、近くの席の人と話したときに思っていた以上に会話が弾んだり、身体測定の待ち時間に隣の人が話しかけてくれたりしたことで、徐々に不安が無くなっていきました。ぜひ皆さんも新しい出会いをきっかけにして、かけがえのない友情を築いてください。

続いて学校行事を紹介します。四中の学校行事には、クラスが団結して取り組む「体育祭」や「合唱コンクール」、旅行を伴い数日間共に過ごしてお互いに理解を深め合う「宿泊学習」「船中泊」「修学旅行」、励まし合いながら長い道のりを歩いてゴールへと向かう「歩く会」などがあります。どの行事も楽しく充実していて、今まで感じたことのないような達成感が味わえます。今年度は新型コロナウィルスの影響で実施時期の変更や、中止されるものもあるかもしれませんが、実施するときには協力して計画したり、練習から全力で取り組んだりして、ぜひ思い出に残るものにしてください。

さらに中学校から始まる部活動についてです。四中は生徒数が多いこともあり、数多くの部活動があります。そして、運動部・文化部とも各種大会やコンクール等で素晴らしい成績を残しています。私たち3年生は数々の大会やコンクール等が中止になり、部活動の最後が今までのようにはいかないことになり、とても悔しい思いでいっぱいです。でも、私は部活動に入って、このメンバーと一緒に頑張ってきたことに誇りをもっています。このメンバーと出会い、お互いに切磋琢磨してきたこれまでの時間は、かけがえのない宝物になりました。1年生の皆さんも、これから出会う部活動の中で、最高のメンバーと絆を深め合い、最後には大きな達成感を得られるように努力してください。願わくば、2年生の先輩方や同じ学年のメンバー、顧問の先生と共に、私たち3年生の悔しい思いの分まで全力で取り組んでくれることを望みます。

最後に、中学校3年間は本当にあっという間です。でも、様々な出会いや経験など、3年間で得られたものは、自分の中で大きな財産になると確信しています。これから中学校生活が始まる皆さんには、ぜひ一日一日を大切にして、勉強・学校行事・部活動など、すべてにおいて全力で取り組んでほしいです。私たち在校生一同、皆さんのご入学を心から歓迎し、これからの中学校生活が充実した3年間になるように応援しています。

令和2年6月8日

令和元年度 後期生徒会長 村島 芽依